







© WEISANG GMBH - 2023

日本語版作成:株式会社ヒューリンクス (2023/07)

(株) ヒューリンクスの許可なく、本書を無断で複製・頒布することを禁じます。

## 目次: 15分でわかる FlexPro 入門

本チュートリアルでは、FlexProの概要と基本的なコマンドの使い方を紹介します。最初のトピックには、FlexProを初めて使うユーザーにとって必要な情報が記載されていますので必ずご覧ください。

1. FlexPro のデータ管理	1
FlexPro のメインウィンドウの構造 リボン クイックアクセスツールバー フォルダウィンドウ オブジェクトリスト データエクスプローラ オブジェクト階層 プレビュー データのプレビュー プロパティウィンドウ ダイナミックヘルプ ワークスペース	2 .2 .3 .3 .4 .5 .6
2. FlexPro に手動でデータを入力する	8
3. Excel データをインポートする1	.0
4. 計測機器から取得したデータをインポートする1	3
5. テキストデータ (ASCII ファイル) をインポートする1	.6
6. ダイアグラムの作成と編集1	.9
カーソルを使ってデータセットの計測を行う2 ダイアグラムの曲線を拡大する2 Y 軸をもうひとつ作成する2 ダイアグラムに2つ目のデータセットを追加して、新しい軸にあわせてスケーリングする2	21 21 24 24
7. ドキュメントを作成する 2	6
ドキュメントとは?2 ドキュメントを作成する2 ドキュメント内のダイアグラムを表示する	26 26 26 27
8. FlexPro で計算を行う	0
9. データのプレゼンテーションと計算をボタンひとつで自動処理する	32

1. FlexPro のデータ管理

# 1. FlexPro のデータ管理

FlexPro では、ユーザー自身で作成するデータセットやダイアグラム、フォルダといった各種オブジェ クトはいずれも FlexPro の「フォルダ」ウィンドウに表示される単一のプロジェクトデータベースに保 存されます。以下に示す FlexPro ウィンドウの「オブジェクトリスト」には、既にサンプルとして幾つ かのオブジェクトが表示されていますが、これらのサンプルオブジェクトは、FlexPro を起動した時点で はまだ表示されていません。



## FlexPro のメインウィンドウの構造

### リボン

各種コマンドを選択する部分です。リボンは機能に応じて幾つかのタブに分かれています。一度に選 択できるタブは1つだけです。この例は、「ホーム」タブを表示した状態です。



タブを切り替えるには、そのタイトルをクリックします。各コマンドはグループ別に配置されており、 アイコンの下にそれぞれの名称が表示されています。FlexProのドキュメントでは、コマンドの場所をあ らわすのに次の構文を使用します:タブ名 [グループ名] > コマンド名。例えば、「ホーム」タブの「ク リップボード」グループにある「コピー」コマンドを指す場合は、「ホーム [クリップボード] > **コピー**」 と表記します。アイコンの中には、エントリーを選択できるものもあります。エントリーを選択できる アイコンには、その横又は下にある小さな矢印があることで識別できます。たとえば、ホーム [クリップ ボード] > **貼り付け** > 形式を指定して貼り付け のような場合です。



### クイックアクセスツールバー

よく使うコマンドについては毎回タブを切り替えなくともアクセスできるよう、ここに表示されます。



ユーザー自身で作成したフォルダが、ここに表示されます。フォルダのいずれかを選択するとオブジ ェクトリストにその内容が反映されます。

フォルダ <b>▼</b> ∓ ×
📑 Measurement 1 🔹 😂 🖆
● プロジェクトデータベース: 'プロジェクトデータベース1'
Measurement 1
フォルダウィンドウ

### オブジェクトリスト

たとえば、データセットやダイアグラムを新規作成すると、それらはオブジェクトとしてこのオブジェクトリストに表示されます。現在作業しているデータ、ダイアグラム、式といったオブジェクトの概要をここで確認できます。

オブジェクトリスト				<b>▼</b> ₽ ×
名前	×⊏	タイプ	変更日時	コンテンツ
<ul> <li>Measurement 1</li> <li>◆ Ultrasound Signal</li> <li>◆ Voltage</li> <li>◆ Current</li> <li>✓ 2Dダイアグラム</li> </ul>		フォルダ データセット データセット データセット 2Dダイアグラム	2023/07/10 15:33:05 2023/07/10 15:33:05 2023/07/10 15:33:05 2023/07/10 15:33:05 2023/07/11 11:49:31	3 オブジェクト(s); 値なし 4,578 64 ビット浮動小数点値 ポイントのシグ 4,578 64 ビット浮動小数点値 ポイントのシグ 4,578 64 ビット浮動小数点値 ポイントのシグ 'Ultrasound Signal'
•	オコ	ブジェク	<b>ットリスト</b>	•

### データエクスプローラ

**データエクスプローラ**には、選択したビューに応じて、お使いのハードディスクのファイルやインデックス付きデータが表示されます。



### オブジェクト階層

このウィンドウには、オブジェクトリストに表示されているオブジェクトが階層構造であらわされま す。オブジェクトを再構築する際、直接的または間接的にリンクするオブジェクトの関係が分かりやす く表示されます。



### プレビュー

プレビューウィンドウには、オブジェクトリストや他のウィンドウにあるデータセット等のオブジェクトの内容が表示されます。オブジェクトをダブルクリックして開かなくても、その概要を把握することができます。



### データのプレビュー

データのプレビューは、データセット専用に設計された高機能なプレビューウィンドウです。データ セットを選択しただけで、その内容が曲線としてここに表示されます。データカーソルを使えば、デー タを計測したり、カーソル間のセクションを拡大表示することができます。



### プロパティウィンドウ

**プロパティ**ウィンドウを使えば、選択状態にあるオブジェクトの各種プロパティを素早く編集できます。

プロパティ	<del>▼</del> ∓ ×
🛃 🗁 🔜 検索	Q
<b>₄</b> データセット	A
名前 プロ	」 パテーイ Signal
カテゴリ	インドウ
開く	
書込保護	False
作成日	2021/08/23 16:44:16
ハイパーリンク	
	False 💌
● フロバティ   追オフジェクト階層	፩ データのフレビュー

### ダイナミックヘルプ

このウィンドウには、現在処理をおこなっているオブジェクトや現在作業を行っているウィンドウに 関連する有益な情報や手順が動的に選択表示されます。ヘルプトピックをクリックするとそれぞれの内 容が表示されます。



### ワークスペース

現在開いているオブジェクトのウィンドウがタブ区切りでここに表示されます。各フォルダは通常オ ブジェクトリストに表示されますが、このウィンドウにフォルダを表示させることも可能です。上の図 の右側は、選択したフォルダの**データビュー**を示すもので、フォルダに含まれる全てのデータセットが グリッド形式で表示されています。



2. FlexPro に手動でデータを入力する

# 2. FlexPro に手動でデータを入力する

**フォルダ**ウィンドウの1行目のルートフォルダをダブルクリックして、データビューに空のデータを 表示します。

<b>₽ ५ .</b> ७ № ÷	データツール		プロジ	ェクトデータベース1 - FI	lexPro Developer Suite	<b></b> .	□ ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示	開発デザイン	0		(1)			0
mV シレ         123 データタタイプ           データセット要素の挿入         単位         ½ 成分:         なし	ax+b ●■■ 値を計算⊠…	☆ 挿入 3 = 挿入	→ 編集 移動	1.89 cm	<ul> <li>■</li> <li>■</li> <li>①</li> <li>●</li> <li>○</li> <li>○<td></td><td></td></li></ul>		
データセットレイアウト データセット	列	行	値	表示	オブジェクト		
₽ 203101-2010-2010-2010-2010-2010-2010-201	×				▼ データェクスプローラ		<b>-</b> ₽ ×
データセット テータセット2	(名前なし)	<ul><li>(名前なし)</li></ul>	(名前)	al) (Ja	🛄 💁 • 🙆 • 😂 • 😂 • 😂 🗄	≣ • 🖩 🍄	
0 1	5				── ── ── ── ── ── ── ── ── ── ── ── ──	021 Fixamples	
	5				名前 🔺	サイズ タイプ	変更日▲
3 4	7				Tutorials	ファイル フォルダー	2023/(
5 6 1	2				VBA	ファイル フォルダー	2023/0
6 7	デー	タビュー			Control Panels and Co	1,801 KB FlexProプロジェ 3 101 KB FlexProプロジェ	2021/(
8		>			Bata Query and Series	4,073 KB FlexPro プロジェ	2021/(
10					- Document Collection a	2.217 KB ElexPro プロジェ	2021/( 🔻
11							P.
13					プロパティ		▼ Ŧ ×
14					2↓ 2→ 🙀 検索		2
16					▲ データセット		
17					名前	データセット2	
					▶ カテコリ	Teur	_
III I I I I I I I I I I I I I I I I I					開入書法公保護	False	
フォルダ <b>▼</b> ∓ ×	オブジェクトリスト			<b>▼</b> ₽	× 作成日	2023/07/10 13:23:17	_
📑 (アクティブ化されたサブフォルダなし) 🔹 😂 🖨	名前	1 <xl< td=""><td>タイプ</td><td>変更日時</td><td>バスパーバンク プロパティ 日2 オブジェクト階層</td><td>↓ ≪データのプレドュー</td><td>*</td></xl<>	タイプ	変更日時	バスパーバンク プロパティ 日2 オブジェクト階層	↓ ≪データのプレドュー	*
プロジェクトデータベース: 'プロジェクトデータベース1'	🔶 データセット		データセット	2023/07/10 13:23:0	4	Q7 777702-	
	🔶 データセット2		データセット	2023/07/10 13:23:2	24 71/22-		▼ Ŧ ×
フォルダウィンドウ	オブジェク	リスト			0,0	5	
	4				▶ 【▲」フレビュー ③ タイナミックヘルン		
準備完了							1 <b>4</b>

データビューに表示されているように1列目と2列目に以下の数値をキーボードを使って入力します。 オブジェクトリストには、自動的に2つのオブジェクト、データセットとデータセット2が作成されま す。

1	5
2	4.5
3	4
4	7
5	14
6	17

🗄 ጛ· 🖉 🗟 ፣		プロジェクトデータベース1	1 - FlexPro Developer Suite		⊡ - □ ×	<
ファイル         ホーム         挿入         データ         表示           X 切り取り         100 </td <td>開発 2 選択・ 3 リンク 協 すべて更新 1 強制的に更新</td> <td><ul> <li>◎ キャンセル</li> <li>⑦ 自動</li> <li>テン:</li> </ul></td> <td>レフレートとして保存 エクスポート 余</td> <td></td> <td>開く ペレ 注名前の変更 ↓ノイバーリンク先に移動</td> <td>0</td>	開発 2 選択・ 3 リンク 協 すべて更新 1 強制的に更新	<ul> <li>◎ キャンセル</li> <li>⑦ 自動</li> <li>テン:</li> </ul>	レフレートとして保存 エクスポート 余		開く ペレ 注名前の変更 ↓ノイバーリンク先に移動	0
クリップボード 外部データ 編	集 更新	fi is	選択したオブジェクト	アクティブフォルダ	オブジェクト	
😓 プロジェクトデータペース: プロジェクトデータペース1	· ×		*	データエクスプローラ	<del>▼</del> ₽ >	×
データセット データセット2	(名前なし)	(名前なし)	(名前なし) (	. <mark></mark>	¢	
0 1	5			Weisang ► FlexPro ► 2021 ► Ex	camples 🕨	
2 3	4			名前 ▲ り	トイズ タイプ 変更日	
	7 4 7 7 7 7 7 7 7 8 1 7 5 ェクトリスト 名前	4<%	▶ ▼ # × タイプ 変更日時	Tutorials         VBA           ④ Analysis.fpd         1,80           ④ Control Panels and Co         3,10           ④ Data Query and Series         4,07           ▲ Document Collection a         2,211           ゴ         ブロパティ           ▲ Bon 反         検索           ズークセット         名前           名前         デー           方ごつり         国           国く、         不加           クロパティン         ション           レパー・パン         カイジャント           ● カリパー・パン         ロッパー・パン           ● カリパー・パン         アン           ● カリパー・パン         日           ● カリパー・パン         日	ファイルフォルチー 2023/( ファイルフォルチー 2023/( ファイルフォルチー 2023/( 1KB FlexPro プロジェ 2021/( 3KB FlexPro プロジェ 2021/( スKB FlexPro プロジェ 2021/( マスB FlexPro プロジェ 2021/( FlexPro Tu))))))))))))))))))))))))))))))))))))	
プロジェクトテータペース: 'プロジェクトデータペース1' 進備完て	<ul> <li> <i>₹</i>-9tyh <i>₹</i>-9tyh2 <i>₹</i>-9tyh2 <i>★</i></li></ul>		データセット 2023/07/10 13:23:04 データセット 2023/07/10 13:23:24	フルビュー フルビュー フルビュー の ダイナミックハルブ 回座		×

入力したデータをチェックするには、オブジェクトリストに表示されているデータのいずれかを選択 します。プレビュー に選択したデータの内容が曲線として表示されます。

注意:このチュートリアルの次のステップは、インポートするデータに応じて変わります。使用する インポート法のいずれかを選択してください:

- Excel データをインポートする
- 計測機器から取得したデータをインポートする
- テキストデータ (ASCII ファイル) をインポートする

3. Excel データをインポートする

# 3. Excel データをインポートする

リボンの「**データ**」タブをクリックします。

ファイル	<b>ホ−</b> ⊿	挿入	データ	表示	開発	0							
		_	🗢 🕨		チャンネルの	D選択:	全体を表示	Ŧ	時間:	相対 -	単位:	すべて確認	-
	5 - + 7 L -		•	X	サブフォルダ	î:	ファイルごと	*	データ構造:	シグナル・	解析テンプレート:	なし	*
ハイナリテー	ን ታትለቦታ	ーツ ( デー	っつって Exe ・タソース	cel//1/	データ:		⊐Ľ–	*	書き込み禁止:	いいえ・			
ידר	イルやデータ	ベースから	うのインポート						4	ンポートの設定			

「インポートの設定」グループが以下の設定になっているかご確認ください。

- チャンネルの選択:全体を表示
- サブフォルダ:ファイルごと
- データ:コピー
- 時間:相対
- データ構造:シグナル
- 書き込み禁止:いいえ
- 単位:すべて確認
- 解析テンプレート:なし

[ファイルやデータベースからのインポート] > Excel ファイルをクリックします。

🖬 🕤 · 🕫 🗟 ፣		プロジェクトデータベー	ス1 - FlexPro Dev	eloper Suite				Ð	-	□ ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 バイナリテータ テキストテータ - OBCC テータリース ファイルやデータベースからのインボート	開発 デャンネルの選択: 全体を サブフォルダ: ファイル データ: コビー	表示 ・ 時間: ご ・ データ構造: ・ 書き込み禁止:	相対 シグナル いいえ (ンポートの設定	<ul> <li>単位:</li> <li>解析テンプレート:</li> </ul>	すべて確認 なし	・ ・ データ その	レンジャン ( シェクスプローラ ) の他のデータソー	ASAM ODS -Z	エクスポー エクスポー	) 
Excel	Fileファイルのインボート	1			データエクスプロ	1-5				<b>▼</b> ₽ ×
Excel	ファイルをインボートします。				💁 • 🔍 • •	⊙ - ○ - ∅ ⊪	≣ • 🖩 🍄			
		-			weisan	g ▶ FlexPro ▶ 20	21 ► Example:	5 ► 5 / <del>1</del>		赤市にA
					活則	<b>A</b>	917	ソイノ ファイル・フ	+11.ď_	2022//
					VBA			ファイル フ ファイル フ	オルシー オルダー	2023/0
					Rnalysis.fp	d	1,801 KB	FlexPro	プロジェ	2021/(
					Control Par	nels and Co	3,101 KB	FlexPro 7	プロジェ	2021/(
					E Data Query	and Series	4,073 KB	FlexPro	ブロジェ プロジェー	2021/(
					Document	Collection a	2217 KB	Flexero	/115/1	>021/1
					プロパティ					- # ×
					24 🐎 😿	検索				Q
עוד <i>ך</i> ד × א	オブジェクトリスト			* † X	<pre>c</pre>					
💕 (アクティブ化されたサブフォルダなし) 🕞 😂 🖨	名前	コメント	タイプ	変更日時	<i>▶</i> プロパティ	121オブジェクト階層	≪ データのブ	レビュー		
📒 プロジェクトデータベース: 'プロジェクトデータベース1'					プレビュー					
					7764	何も選拔	Rされていません	0		* * *
	•			•	. <b>.</b> ₹7/ビュ–	◎ ダイナミックヘルン	「国座標			
準備完了									1	10 🐥

インポートダイアログボックスが開きます。次のパスを指定するか、日本語のフォルダ名で C: > ユ ーザー > パブリック > パブリックのドキュメント > Weisang > FlexPro > <バージョン> に移動し ます。

C:Users Public Z Documents We is ang F lex Pro Z V

更に、サブフォルダ Examples¥Data¥First Steps¥Excel data に移動して、**Measurement 1.xls** を 選択します。「開く」をクリックします。

↓ インポート							×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$ $\frown$ $\checkmark$ FlexPro $>$	2021 > Examples >	Data > First Steps > I	xcel data	~ Ō	,⊂ Exc	el dataの検索	
整理 ▼ 新しいフォルダー							
Weisang	<b>^</b> 名前	^	更新日	诗	種類	ť	イズ
FlexPro	Measure	ment 1.xls	2021/08	/23 16:44	Microso	ft Excel 97	425 KB
2021 Examples Add-In Data First Steps Text data Video Analysis Firstex	ierin المعادم	ment 2.xls	2021/06	16:44	Microso	ft Excel 97	425 KB
Tutorials							
	~ <						>
チャンネルの選択:	全体を表示	~ 時間:	相対	~	単位:	すべて確認	~
サブフォルダ:	ファイルごと	✓ データ構造:	シグナル	~	解析テンプレート:	なし	$\sim$
データ:	כאר	✓ 書き込み保護:	いいえ	~	データ範囲:	すべてのデータ	~
ファイル名(N):	Measurement 1.xls				✓ Excel 77	イル (ウィザード) (*.	xls;*.xl ~
				ヘルプ(H)	開く(	O) +t	ッンセル

選択されたデータセットの構造は FlexPro により自動的に認識されます。データセットの構造は「見つかった列」に表示される値で確かめることができます。「完了」をクリックします。

(スキーでなし)         C¥Users¥Public¥Documents¥Weisang¥FlexPc.,¥           データ記憶域         □ すべてのシートをインボート(L)         方向(O):         列ごとにデータセットを読み込み           シートでい         「         Masurement 1         □	Measurement
夕記憶域 □ すべてのシートをインボート(L) 方向(O): 列ごとにデータセットを読み込み シートN: 「M Measurement 1	
□ すべてのシートをインボート(L) 方向(O): 列ごとにデータセットを読み込み シート(S): 「✓ Measurement 1	
2/−h/St: Measurement 1	
「一夕範囲	
ンテント: Measurement 1 見つかった列:	4
yテント: Measurement 1 見つかった列: ↓ 1(X) 2(Y) 3(Y) 4(Y)	4
パテント: Measurement 1 見つかった列: ↓ 1(X) 2(Y) 3(Y) 4(Y) 1 Time s Ultrasound Signal V Voltage V Current	4 mA
パデンド: Measurement 1 ■ 1(X) 2(Y) 3(Y) 4(Y) 1 Time s Ultrasound Signal V Voltage V Current 2 0 0012 0 33	4 mA
パデンド: Measurement 1	4 mA
ガデンド: Measurement 1 ■ 1(X) 2(Y) 3(Y) 4(Y) 1 Time c Ultrascund Signal V Voltage V Current 2 0 00157509 0.012 00 33185 4 00018151018 0.010 0.008 33871	4 mA
ガデンド: Measurement 1	4 mA
ガデンド: Measurement 1	4 mA
ソデンド:         Measurement 1         見つか方列:           1         (X)         2 (Y)         3 (Y)         4 (Y)           1         Time         s         Ultrascund Signal         V         Voitage         V         Current           2         0         0.012         0         3 3         3.0009157509         0.014         33.15           3         0.0009157509         0.011         0.008         33.371           5         0.0022472527         0.007         0.012         35.566           6         0.0086380037         0.002         0.016         33.741           7         0.0121         0.021         33.566	4 mA
ガデンド: Measurement 1	mA
PFンド: Measurement 1	mA
ガデンド: Messurement 1	mA
サデンド:         Measurement 1         見力か方列:         見力か方列:           1         (X)         2 (Y)         3 (Y)         4 (Y)           1         Time         s         Ultrascund Signal         V         Voltage         V           2         0         0.012         0         0.03         3.0009 157503         0.014         0.008         3.8371           5         0.002472527         0.007         0.012         3.8566         0         0.0054787566         0         0.022         0.016         3.8741           7         0.0045787566         0.002         0.016         3.8266         0.0025         3.4122           9         0.0064 102564         -0.005         0.023         3.4297           10         0.0022417552         0         0.023         3.4297           10         0.0025         -0.004         0.023         3.4297           10         0.002517552         0.004         0.033         3.4297           10         0.0025215522         0         0.003         3.4697	mA
P7ンド: Messurement 1	mA
サテンド:         Measurement 1         見力か方列:         見力か方列:           1         Time         2 (Y)         3 (Y)         4 (Y)           2         0         0.012         0         38.05           3         0.00915750         0.013         0.004         38.185           4         0.018         0.004         38.185           5         0.002472527         0.011         0.008         38.71           6         0.002472527         0.007         0.012         38.56           6         0.002472525         0.004         0.8741         38.26           8         0.0054987566         0         0.025         34.12           9         0.0054102564         -0.004         0.029         34.297           10         0.002417582         0         0.033         34.492           10         0.002417582         0.004         0.037         34.667           12         0.001973601         0.008         0.041         34.862           13         0.010973601         0.008         0.041         35.037           14         0.0084         0.044         95.037         95.037	mA

注意:お持ちのデータをインポートする場合、ウィザードの次のページに表示されるデータを正しく 解釈するための設定が必要になる場合があります。このウィザードで設定した内容を保存しておけ ば、次回以降、同様のデータ構造を素早くインポートすることができます。これを行うには、ウィザ ードの最後のページで「インポートスキーマを保存」オプションを選択します。

「**単位の検証**」ダイアログボックスには、インポートされる全ての単位が表示されます。「**で変換**」 列には、全ての単位が正しくインポートされたことが示されています。

クションを選択(S):		単位を編集			$\sim$	
売み込まれた単位	として認識さ	いた	置換	で変換	物理量	
√ s	秒		s	秒		
🗸 mA	ミリアンペア		mA	ミリアンペア		
カスタム単位のテーフ	「ルを聞く(0)	変更を(呆存(A	):			

「閉じる」をクリックしてダイアログを閉じます。

インポートしたデータをチェックするには、オブジェクトリストに作成されたデータのいずれかを選択します。プレビューに選択したデータの内容が曲線として表示されます。

⊞ 5 • ♂ ฿ ፣	プロジェクトデータベ	ース1 - FlexPro Developer Suite		<b>.</b> -	□ ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示	開発 🛛				0
バイナリテータ テキストテータ ODBC Excel ファイル	チャンネルの選択     全体を表示・時間:       サブフォルダ:     ファイルごと・データ構造:       データ:     コビー・・       書き込み禁止	相対 単位: シグナル 解析テンプレート: 上: いいえ ・	すべて確認 - なし ・ データ:	まクスプローラ ASAM のDS エクスポー	 -ト
ファイルやデータベースからのインボート		インボートの設定	₹0.	パ他のデータソース エクスボー	-ト
			テータエクスノローフ		* ù ×
			<u></u> • <u>_</u> • <b>○</b> • <b>○</b> • <b>⊘</b> ≡	- III (P	
			≪ Weisang ► FlexPro ► 202	21 Examples F	_
			名前	サイズ タイプ	変更日▲
			Tutorials	ファイル フォルダー	2023/(
			VBA C Analysis feed	ファイル フォルター 1 201 KR Elev Dep プロジェ	2023/0
			Control Panels and Co	3.101 KB FlexPro プロジェ	2021/(
			E Data Query and Series	4,073 KB FlexPro プロジェ	2021/(
			Document Collection a	2 217 KB ElexPro プロジェ	2021/(▼
			プロパティ		* # ×
			2↓ >>> 🙀 検索		Q
			⊿ データセット		
			名前	Ultrasound Signal	
			カテゴリ	Measurement 1	
			開く	False	
7+11/4 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11	オブジェクトリスト		普込休波 作成日	2021/08/23 16:44:16	
	タ曲コンル	タイゴ 亦亜白時	1/1/-11-/h	2021/00/25 10:44:10	Ŧ
	Measurement 1	7+1.4 2023/07/10 14:37:52		≪ テータのノレビュー	
Measurement 1		データヤット 2023/07/10 14:37:52	プレビュー		* # ×
	Voltage         Ultrasound Signal (データセット カテゴ), Messurement 1 4,576 4 ピット等力), Messurement 1 4,576 4 ピット等力), Messurement 1 4,576 4 ピット等力, Messurement 1 5,767 4 ピット マート, Messurement 1 5,767 4 ピット マート, 2005 7 単年基巻, 1:20 マート, 2005 7 単年基巻, 1:20 マート, 2005 7 単年基巻, 1:20 マート, 2005 7 単年基巻, 1:20	<u>データサート</u> 2003/07/10.1437552 ) (イントのシグナル [V. s] 2 0.00754584 395575、サンプリングレート 1092 空値: いいさ	2 -0241 -0220 -0220 -0220 -0220	s 4.19139	
世界中マ	1				

次は、6. ダイアグラムの作成と編集に進んでください。

# 4. 計測機器から取得したデータをインポートする

リボンの「データ」タブをクリックます。

ファイル	水一小	挿入	テータ	表示	開発	0							
			🧢 📐		チャンネルの	D選択:	全体を表示	Ŧ	時間:	相対 -	単位:	すべて確認	-
	5-+71-		<u>@</u> <b>%</b> 1	X	サブフォルダ	î:	ファイルごと	-	データ構造:	シグナル -	解析テンプレート:	なし	*
ハイナリナ・	-ን ታትለቦን		ODBC Exc -タソース	elノバイル	データ:		3Ľ–	*	書き込み禁止:	いいえ・			
7:	ァイルやデータ	バースか	らのインポート						1	ンポートの設定			

「インポートの設定」グループが以下の設定になっているかご確認ください。

- チャンネルの選択:全体を表示
- サブフォルダ:ファイルごと
- データ:コピー
- 時間:相対
- データ構造:シグナル
- 書き込み禁止:いいえ
- 単位:すべて確認
- 解析テンプレート:なし

[ファイルやデータベースからのインポート] > バイナリデータをクリックします。



4. 計測機器から取得したデータをインポートする

インポートダイアログボックスが開きます。次のパスを指定するか、日本語のフォルダ名で C: > ユ ーザー > パブリック > パブリックのドキュメント > Weisang > FlexPro > <バージョン> に移動し ます。

C: Users Public Documents Weisang FlexPro (<math>n - 2 = 2)

更に、サブフォルダ Examples¥Data¥First Steps に移動して、**Measurement 1.DDF** を選択しま す。「開く」をクリックします。

← → × ↑ 📙 « Weisang > I	FlexPro > 2021 > Examples > Data > Fin	st Steps 🗸 🗸	<u>م</u> ق	First Stepsの検索	
整理 ▼ 新しいフォルダー					· 🔟 🔮
Weisang	<b>^</b> 名前 <sup>^</sup>	更新日時	種	頬	サイズ
FlexPro	Excel data	2023/06/26 15:	40 77	・イル フォルダー	
2021	Text data	2023/06/26 15:	40 77	イル フォルダー	
Examples	Measurement 1.DDF	2021/08/23 16:	44 DE	DF ファイル	189 ł
Add-In	Measurement 2.DDF	2021/08/23 16:	44 DE	DF ファイル	189 H
Data					
First Steps					
Excel data					
Text data					
Text data	ju				
Text data Measurement Ser	îr.				
Text data Measurement Ser Video Analysis	Ĩu				
Text data Measurement Ser Video Analysis FPAccess	Ĩ				
Text data Measurement Ser Video Analysis FPAccess Tutorials V8A	ù				
Text data Measurement Ser Video Analysis FPAccess Utorials VBA	n ▼ <				
Text data Messurement Ser Video Analysis FPAcces Utorials VBA バブリックカット チャンネルの選択。夏	₩ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	相対		単位: すべて確認	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
Text data     Measurement Ser     Vide Analysis     FPAccess     Tutorials     VSA     バブリックのドクチャ     チャンネルの現代。    サプフれか。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	相対 v 2/J+11. v	解析テンプし	単位: <b>すべて確認</b> ンート: む	~
Text data     Measurement Ser     Vice Analysis     FPAccess     Tutorials     Vice     バブリックのドクチャ     デャンネルの選択     ダブカルグジ     ディ・	★ く 時間: ★ 体を表示 ゲイルごと ゲーク場応: 書も3.2.6 年、	相対 〜 シグナル 〜	」 解析テンプし データi	単位: <b>すべて確認</b> ノート: なし	~
■ Text data ● Measurement Ser ● Viceo Analysis ■ FPAccess ■ Tutorials ● VBA ■ パブリックのピクチャ チャンネルの選択 ● ザブフォルグ、 データ:	▼ く 注体を表示 > 時間: 下/ルごと > デーク場击: ビー > 巻き込み保護:	相対 、 シグナル 、 いいえ 、	」 鮮析テンプし データ!	単位: <b>すべて確認</b> レード なし 朝田: <b>すべてのデー</b> (	~ ~ 9 ~
「Text data     「Messurement Ser     「Video Analysis     「Vi	■ を体を表示 下/ルごと ピー むシみ保護: essurement 1.DDF	相対 〜 シグナル 〜 レいス 〜	」 解析テンプし データ1 、 、 テキ	単位: すべて確認 レード なし 範囲: すべてのデー・ ストファイル (ウィザー	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

注意:「ファイルの種類」を展開すると、インポート可能なすべてのオプションが表示されます。

「単位の検証」ダイアログボックスには、インポートされる全ての単位が表示されます。

クションを選択(S):		単位を編集			$\sim$	
表み込まれた単位 / V / s / mA	として記録れる ポルト 秒 ミリアンペア	:NE	置換 ∨ ∞ mA	で変換 ポルト も ミリアンペア	物理量	
						 _

「で変換」列には、全ての単位が正しくインポートされたことが示されています。「閉じる」をクリックしてダイアログを閉じます。

🗄 ጛ· ሮ 🖟 ፣	プロジェクトデータペース1 - FlexPro Developer Suite	<u>∎</u> - □ ×
ファイル ホーム 挿入 <u>データ</u> 表示 パイナリテータ テキストテータ <sub>フ</sub> のDBC Excel フアイル データソース	開発 ♀ チャンネルの進択 全体を表示 ・ 時間: 相対 ・ 単位: すべて確認 ・ サブフォルダ: ファイルごと ・ データ構造: シグナル ・ 解析テンプルート なし ・ テータ: コピー ・ 書き込み禁止: いいえ ・	で ASAM ODS
ファイルやデータベースからのインボート	インボートの設定 その他の データエクスプローラ	データソース エクスポート ▼ + ×
	≪ Weisang ≯ FlexPro ≽ 2021 ≯	Examples >
	名前 Intorial VBA Analysis.fpd Intorial VBA Control Panels and Co Data Query and Series Data Query Analysis for Data	サイズ タイブ 変更E▲ フィ/ルフォルダー 2023/ フィルフォルダー 2023/ メロルダー 2023/ 20
	オブジェクトリスト     マ 平 ×     作成日	False 2021/08/23 16:44:16
<ul> <li>Measurement 1</li> <li>● 通道</li> <li>● プロジェクトデータペース: "プロジェクトデータペース1"</li> <li>● Measurement 1</li> </ul>	名前 コメント タイプ 変更日時 Measurement 1 アートリップ Wittage Ultrasound Signal (データセット 2023/07/10 15:02:54 Wittage Ultrasound Signal (データセット 2023/07/10 15:02:54 アークセット 2023/07/10 15:02:54 フークセット 2023/07/10 15:02:54 フークセット 2023/07/10 15:02:54 フーレニー Ultrasound Signal (データセット) Vij 日ナ、202703 日ナ・0:02:19727 平均:5:38826-05 標準層量:0:075455 次数: な U 空磁 いいス X (16) 日ナ、19139 日本 マークセット 2023/07/10 15:02:54 フーレニー ローズパープ ローズ フーレニー フーレニー フーレニー ローズ ローズ ローズ ローズ ローズ ローズ ローズ ロー	データのブレビュー マーキ × 4.19139 座標
準備完了		ii 🐥 .:

インポートしたデータをチェックするには、オブジェクトリストに作成されたデータのいずれかを選 択します。プレビュー に選択したデータの内容が曲線として表示されます。

次は、6.ダイアグラムの作成と編集に進んでください。

5. テキストデータ (ASCII ファイル) をインポートする

# 5. テキストデータ (ASCII ファイル) をインポートす る

リボンの「**データ**」タブをクリックします。

ファイル	木一厶	挿入	テータ	表示	開発	0							
			🧫 🖡	-	チャンネルの	の選択:	全体を表示	Ŧ	時間:	相対 -	単位:	すべて確認	Ŧ
	5-+71		<u>@</u>	X	サブフォルタ	Ĵ:	ファイルごと	-	データ構造:	シグナル -	解析テンプレート:	なし	-
ハイナリナ・	-9 74207		ODBC Exc ・タソース	eリアイル	データ:		3Ľ–	*	書き込み禁止:	いいえ・			
כ	アイルやデータ	バースから	5のインポート	.					4	ンポートの設定			

「インポートの設定」グループが以下の設定になっているかご確認ください。

- チャンネルの選択:全体を表示
- **サブフォルダ:ファイルごと**
- データ:コピー
- 時間:相対
- データ構造:シグナル
- 書き込み禁止:いいえ
- 単位:すべて確認
- 解析テンプレート:なし

[ファイルやデータベースからのインポート] > テキストデータをクリックします。

<b>₽ 5 °</b> ৫ ₽ =	プロジェクトデータペース1 - FlexPro Developer Suite	፹ - □ ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 バイナリテータ テキストテータ - ODBC Excelファイル データソース ファイルやデー - マークのBC = たxelファイル	開発 ♀ Fャンネルの選択 全体を表示 ・時間: 相対 ・単位: すべて確認 ・ サブフォルダ: ファイルこと ・データ構造: シグナル ・解析テンプレート: なし ・ データ: コピー ・書き込み禁止: いいえ ・ - クボートの設定 -	ローラ ASAM ローラ ASAM エクスポート ロクソース エクスポート
テキストデータのインボート テキストデータのインボートウ・ゲートや起動して別のテキストファイル からテータをインボートします。	データセクスプローラ     データセクスプローラ     マーク     マーク	マーキ × な Examples ト サイズ タイブ 変更E ▲ ファイルフォルダー 2023( ファイルフォルダー 2023( ファイルフォルダー 2023( ロド島 FlexPro プロジェ 2021/( ロド島 FlexPro プロジェ 2021/( マーキ × マーキ × ロジェクトデータペース: プロジェ lse lse
フォルダ     ◆ 4 ×       ● 「アクティブ化されたサブフォルダなし」     ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	オブジェクトリスト 名前 コメント タイプ 変更日時 ・ コパニート 日オブジェクト ① オ ブジェクト ● プルビュー ● ダイナミックヘルプ 巨原	ise 23/07/10 13:19:31 - タのルビュー マーネ × を持つブ 軽優 副 阜 .::

インポートダイアログボックスが開きます。次のパスを指定するか、日本語のフォルダ名で C: > ユ ーザー > パブリック > パブリックのドキュメント > Weisang > FlexPro > <バージョン> に移動し ます。

C:Users Public Z Documents We is ang F lex Pro Z V

更に、サブフォルダ Examples¥Data¥First Steps¥Text data に移動して、**Measurement 1.txt** を 選択します。「開く」をクリックします。

✦ インポート							×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$ $\square$ $\ll$ FlexPro $>$	2021 > Examples > Dat	ta > First Steps > 1	ext data	~ 1	ッ 「Pex	t dataの検索	
整理 ▼ 新しいフォルダー							
Weisang	<b>^</b> 名前	^	更新	听日時	種類	1	ナイズ
FlexPro	Measureme	nt 1.txt	202	1/08/23 16:44	テキスト	*キュメント	156 KB
2021	Measuremen	nt 2.txt 💦	202	1/08/23 16:44	テキスト	ドキュメント	157 KB
- Examples							
Add-In							
Data							
First Steps							
Excel data							
📕 Text data							
Measurement S	ieri						
📙 Video Analysis							
FPAccess							
Tutorials							
VBA							
. パブリックのピクチャ	~ <	n+ 89					>
ナヤンイルの違択:	全体を表示 ~	1911日:	相対	~	单位:	すべて確認	$\sim$
サブフォルタ:	ファイルごと 〜	テータ構造:	シグナル	$\sim$	解析テンプレート:	なし	$\sim$
データ:	של- אר	書き込み保護:	いいえ	~	データ範囲:	すべてのデータ	$\sim$
ファイル名(N):	Measurement 1.txt				デキストフ	ァイル (ウィザード) (	*.*) ~
				ヘルプ(ト	1) 開く(	0) +	ャンセル

選択されたデータセットの構造は FlexPro により自動的に認識されます。データセットの構造は「見つかった列」に表示される値で確かめることができます。「完了」をクリックします。

保存	」たインボートスキーマのう	呈択			ファイルバス				
(7	(キーマなし)				<ul> <li>C:¥Users¥Publi</li> </ul>	ic¥Documents¥	Weisang¥FlexPro¥20¥f	Measurement	: 1.t
77.	「ルデータ記憶域								
文	李コード(C):	932 (AN	NSI/OEM - 日本語 Shift-JIS)		~ 方向(O):	列ごとは	データセットを読み込み		
区切	り記号								
列	区切り記号(M):	タブ			~	☑ 列ご	とに区切り記号1つのみ(Y)		
小	数点記号(D):	ポイント			~				
₹_ <i>1</i> 7	節囲								
-)	위신 (#1)								
fī	D範囲(A)		2 から	(ファイルの終わり	)				
									1
1272	/N:						見つかった列:	4	
- 14	1(X)		2(Y)		3(Y)		4(Y)		
1	lime	s	Ultrasound Signal	V	Voltage	V	Current	mA	
2	0		0.012		U 		33		
3	0.0009157509		0.013		0.004		33,185		
4	0.0018315018		0.01		0.008		33.371		
5	0.0027472527		0.007		0.012		33.556		
6	0.0036630037		0.002	1	0.016		33.741		
7	0.0045787546		-0	1	0.021		33.926		
8	0.0054945055		-0.004		0.025		34.112		
9	0.0064102564		-0.005	1	0.029		34.297		
10	0.0073260073		-0.004	1	0.033		34.482		
11	0.0082417582		0	1	0.037		34.667		
12	0.0091575092		0.003	1	0.041		34.852		
18	0.0100732601		0.008	1	0.045		35.037		
14	0.010989011		0.01		0.049		35.222		
14	0.0119047619		0.012		0.054		35.407		
15			0.012		0.058		35.591		
15 16	0.0128205128								>
15 16 <	0.0128205128								-
15 16 <	0.0128205128								-

注意:お持ちのデータをインポートする場合、ウィザードの次のページに表示されるデータを正しく 解釈するための設定が必要になる場合があります。このウィザードで設定した内容を保存しておけ ば、次回以降、同様のデータ構造を素早くインポートすることができます。これを行うには、ウィザ ードの最後のページで「インポートスキーマを保存」オプションを選択します。

「単位の検証」ダイアログボックスには、インポートされる全ての単位が表示されます。

クションを選択(S):		単位を編集			$\sim$	
読み込まれた単位	として認識	された	置換	で変換	物理量	
✓ V	ボルト		v	ボルト		
√ s	秒		s 	秒		
·	2012-01			2020		

「で変換」列には、全ての単位が正しくインポートされたことが示されています。「閉じる」をクリ ックしてダイアログを閉じます。

⊞ ち・♂ ฿ ፣		プロジェクトデータペー	ス1 - FlexPro Deve	loper Suite			<b>⊡</b> -	□ ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示	開発 ♀ チャンネルの選択: 全体を表示	元 · 8年88-	相対	· 単位·	すべて確認	-		0
バイナリテータ テキストテータ ODBC データソース	サブフォルダ: ファイルごと データ: コビー	<ul> <li>データ構造:</li> <li>書き込み禁止:</li> </ul>	シグナル いいえ	・ 解析テンプレート:	なし *	データエクスプローラ	ASAM エク ODS	<b>↓</b> スポート
ファイルやデータベースからのインポート		4	レポートの設定			その他のデータソー	-ス エク	スポート
					データエクスプローラ			* 4 ×
					💁 + 🙆 + 🔕 + 🕥 +	0 🖩 • 🖩 🌣		
					🧧 « Weisang 🕨 FlexPro	→ 2021 → Example	s 🕨	
					名前	サイズ・	タイプ	変更日▲
					Tutorials		ファイル フォル:	9- 2023/(
					VBA		ファイル フォル	J- 2023/0
					Control Panels and Co.	1,801 KB 3 101 KB	FlexPro プロミ	/I 2021/0-
					Data Query and Series	. 4,073 KB	FlexPro プロジ	JI 2021/(
					Document Collection a.		FlexPro ブロミ	2π 2021/(♥ ▶
					プロパティ			- # ×
					위 🗁 😽 検索			P
					✓ データセット			
					名前	Ultrasoun	d Signal	
					カテゴリ			
					開く	False		
7711/2	オブジェクトリスト			- A	音込休歳 × 作成日	2021/08/2	3 16:44:16	
Maaruramant 1	名前	1825	917	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			h 12-	Ŧ
TOSTAREANET, TOSTAREANET, 1	Measurement 1	-///	フォルダ	2023/07/10 15:33:0	5	「「酒」園 - マのノ	-111	
Measurement 1	Ultrasound Sig.		データセット	2023/07/10 15:33:0	5 プレビュー			* # ×
	Voltage Current X X X	trasound Signal (データf 578 64 ピット浮動小数点 [V]: 最大: 0.241 長小: 物: 5.72302e-05 標準( 数: なし 空値: いいえ (5): 最大: 4.19139 長小 均: 2.0957 標準偏差: 1 数: 線形に増加、増分 0.	セット) 値 ポイントのシグナ) -0.22 易差: 0.0754584 : 0 1.21035 000915751、サンプ	レ [V, s] リングレート 1092 空	■	41 22 0 クヘルブ 国座標	4.19139	
準備完了					· m			11 <b>4</b>

インポートしたデータをチェックするには、オブジェクトリストに作成されたデータのいずれかを選択します。 プレビュー に内容が曲線として表示されます。

次は、6.ダイアグラムの作成と編集に進んでください。

# 6. ダイアグラムの作成と編集

マウスの左ボタンを使用して、オブジェクトリストからデータセット Voltage を選択します。

オブジェクトリスト				•	<del>џ</del>	×
名前	コメント	タイプ	変更日時			
Measurement 1 Ultrasound Sig Voltage Current		フォルダ データセット データセット データセット	2023/07/10 2023/07/10 2023/07/10 2023/07/10	) 15: ) 15: ) 15:	33:( 33:( 33:( 33:(	)5 )5 )5
4						►

リボンの「挿入」タブをクリックします。「ライン」メニューから「折れ線」を選択します。

🗄 ጛ ତ 🕼 ፣			
ファイル ホーム 🛔	<b>●入</b> データ 表示	開発 ♀	
フォルダ Excelワークブック	ドキュメント ワークシート	ダイアグラムウィザード ・	<ul> <li></li></ul>
24167			
			27542
			カーソルの有効化 動的軸とカーブ ✓ データセットの色を使用
			☆ 折れ線グラフウィザード

注意:FlexPro で行った操作は、いつでもアンドゥで元に戻すことができます。クイックアクセスツ ールバーにある**元に戻す/復元**アイコンをクリックしてください。 6. ダイアグラムの作成と編集



オブジェクトリストに新規ダイアグラムが追加され、ワークスペースにダイアグラムが表示されます。



2Dダイアグラムツールの「デザイン」タブにある [カーソル] > オン/オフをクリックします。



## カーソルを使ってデータセットの計測を行う

マウスポインターを Y 軸の左端に移動します。ここには 2 つのカーソルのうちの 1 つがあります。左 右矢印が表示されます。マウスボタンを押しながら、カーソルを右側へ移動します。カーソルの現在位 置の値が**座標**ウィンドウに表示されます。



## ダイアグラムの曲線を拡大する

「拡大」アイコンをクリックすると、2つのカーソルに挟まれた信号部分が拡大表示されます。

⊟∽♂₨÷	2Dダイアグラムツ	ノール カーソルツール	
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 開発	デザイン	カーソル	Q
▲ ■ ▲ ■ ▲ ■ ▲ ■ ★ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	表示する 、 自動スケール 、 カーソル 、 カーブ	<ul> <li>○ 拡大 ○ 画像セクジ</li> <li>○ 戻す △ 時間: デ</li> </ul>	<ul> <li>(3)の復元</li> <li>(4)の調整 ▼</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(5)</li> <li>(6)</li> <li>(7)</li> <li< th=""></li<></ul>
x:1.03663 s 1.2		<ul> <li>(2) カーソル間のX範囲</li> <li>カーソル間のX範囲</li> </ul>	<b>囲を拡大 (Num +)</b> 酸拡大します。

拡大したダイアグラム内でデータセットを移動するにはスクロールバーを使います。

#### 6. ダイアグラムの作成と編集

⊟ ५·୯ଌେ	2Dダイアグラムツール カーソルツール	プロジェクトデータペース1 - FlexPro Develop	per Suite	⊡ - □ ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 開発 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	デザイン カーソル ♀  表示する。  回転なケッションの復元  自動スケール。  役自動 中国際セクションの領元  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		つ 辺 削除・ 命マーカー     ペデータセットを開く     「 回 福馬・ 命範囲 命値の編集・     日位言 奇値 術範囲の編集・	<ul> <li></li></ul>
ナビゲーション カーソル 5 イベント	カーブ カーブの拡大	画像セクションの移動 カーブの移動	マーカー 5 コピー 編集	再生 5
₩2D <b>ダイアグラム</b> ×			▼ データエクスプローラ	<b>▼</b> 7 ×
X 1 03663 s			🔺 🧕 - 🔕 - 😂 - 😂 🛛	≣ • 🖩 🌣
4 1.2				021   Examples
0			名前 ▲ Data FFA-cces Totonia's VRA 星 Analysis fed Control Panels and Co 但 Data Courry and Series 日 Document Collection a ゴロワイティ 引 つつ 岐 政策	サイズ (*イブ フイル フルパー 2 フイル フルパー 2 フイル フルパー 2 フイル フルパー 2 フイル フルパー 2 フイル フルパー 2 フイル フルパー 2 フィル 2 スロパス 8 Herbo 7052. 2 2,217.68 Herbo 7052. 2 2,217.68 Herbo 7052. 2 2,217.68 Herbo 7052. 2 3 ×
			< カーソル	A
-1.2			797-77	True
1.2	1.5	1.8 s	2.1 Xインデックス	1132
			× K 位置	1.0366300366
			▶ ブロバティ 皆れブシェクト階層	■ ≪データのプレビュー
フォルタ マネ × オフジェク	NJZF		▼ <sup>♀</sup> × 座標	<b>*</b> # ×
Measurement 1 - Sales and 248	JX  ゲイノ 一変更目時 コメニー フォリズ 2022/07/10 15:32:05	コノアノヴ 2 オゴジェクト(4) 彼か!		
	Americania アークセント 2022/07/10 15:33:05 Ditage データセット 2023/07/10 15:33:05 Ditage データセット 2023/07/10 15:33:05 (アグラム 20ダイアグラム 2023/07/10 16:13:22	3 インジェイトに、mareu A 37564 どう不勝か死点値 ポイントのシグナル [V. 3] 4 37564 どう不勝か死点値 ポイントのシグナル [V. 3] 4 37564 ビラト爆動小敗点値 ポイントのシグナル [mA, s] Voltage	Woltage X[1,132] Dolta-X Delta-X	-0.999 V 1.03663 s 0.685 V 1.13004 s
4 4			▶ ▲フレビュー @ タイナミックヘル	ノ <u>目注律</u> 部 31.3 cm x 10.2 cm 鳥 ::

「**画像セクションの復元**」アイコンを使えば、全てのズーム操作をワンステップで元に戻すことができます。

ᠳᠫ᠂ᠿ᠖᠇	2Dダイアグラムツ	<u>メール カーソルツール</u>
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 開発	デザイン	<u>カーソル</u> 🔉
▲ 『 ▲ ② 本 前 オン/オフ 四 · 由 · 切り替え 少 移動…	表示する ・ 自動スケール ・ カーソル ・	<ul> <li>図 拡大 Q 画像セクションの復元     <li>※ 自動 中 画像セクションの調整     <li>Q 戻す 配時間: データによる元子     <li>※ ※     </li> </li></li></li></ul>
ナビゲーション カーソル 12 イベント	カーブ	カーブの拡大
<u>№ 20<b>9479</b>Э</u> <u>А</u> × х:1 дз663 s		<ul> <li>マ、オリジナル画像セクションの復元 オリジナルの画像セクションを復元します。</li> </ul>

ここで、カーソルを一旦オフにしてダイアグラムの編集を行うことにします。[カーソル] > オン/オ フ をクリックしてください。



ダイアグラム内の曲線をマウスの左ボタンで1回クリックすると、この曲線が選択され編集可能な状態になります。例えば、線の「色」メニューを使用すれば、曲線のカラーを変更できるようになります。



選択状態の曲線をマウスの左ボタンでダブルクリックすると、この曲線のプロパティダイアログボッ クスが開きます。この曲線に加えた変更内容は、全てこのダイアログボックスに表示されます。ここで は、「キャンセル」をクリックしてプロパティダイアログボックスを閉じます。

全般	☑ 結合ラインを表示(N)			
データ	種類(Y)			
	直線    ~	矢印のスタイル(A):	~	
トロフィン シンボル τラーインジケータ	□ 空値のブリッジ(B)			
列/バー 塗りつぶし ご ちゃこくり 付け	スタ1ル(S) 固定カラー ~	透明度(R):	0%	
テータのラベルイオけ 軸のラベルイオけ カーブのラベルイオけ	<ul> <li>E(C):</li> <li>目動</li> <li>線のスタイル(T):</li> <li>自動</li> </ul>	]		
凡例	總幅(L): <u>日則 ∨</u> 。	]		
	]		OK キャンセル	✓ 適用(A)

注意:ダイアグラムのすべての要素(軸、スケーリング等)はダブルクリックすることで、その要素 に関連するプロパティダイアログボックスが自動的に表示され、各種設定に変更を加えることができ るようになります。

### Y 軸をもうひとつ作成する

マウスの左ボタンを使用して、Y 軸目盛りをクリックします。数値が選択状態となり、ハイライトで 表示されます。



Y軸のいずれかの数字にマウスポインターを移動します。例えば、「0.4」をクリックして、マウスの 左ボタンを押し続けます。ここで **CTRL キー**を一緒に押します。マウスポインターの形状が追加をあら わす「+」記号に変わります。この状態でマウスポインターをダイアグラムの右端の空白の位置まで移 動たら、ここでマウスボタンを離します。選択した位置に新しい軸が追加されます。次のステップは、 データセットをこの新しい軸にスケーリングすることです。

## ダイアグラムに2つ目のデータセットを追加して、新しい軸にあわせ てスケーリングする

オブジェクトリストでデータセット Current をクリックします。マウスボタンを押したままにします。

新たに追加した方の軸にマウスポインターを移動したらマウスボタンを離します。Current データセットがダイアグラムに表示されるとともに、新たに追加した軸の範囲にあわせて自動的にスケーリングされます。



以上でこのダイアグラムに2つのデータセットが2つの Y 軸に表示されました。 ウィンドウタブの閉じるアイコンをクリックしてこのダイアグラムを閉じてください。



注意:**オブジェクトリスト**で **2Dダイアグラム**オブジェクトをクリックします。このダイアグラムは クリップボードにコピーしたり、例えば Word 文書にドラッグ&ドロップでコピーできるようになっ ています。 7. ドキュメントを作成する

# 7. ドキュメントを作成する

## ドキュメントとは?

ドキュメントとは、ダイアグラムやテキストテーブルをそこに配置したり、印刷物として出力できる 一枚の紙と同等の役割をはたすオブジェクトのひとつです。

## ドキュメントを作成する

空白のドキュメントを作成するには、挿入 [コンテナ] > ドキュメントをクリックします。

🗄 🕤 🖒 🕼	÷			プロジェクトデータベー	-71
ファイル ホーム	挿入 データ	表示 開発	0		
🗾 フォルダ	ドキュメント・     「□ ワークシート・     ・	<u>"</u>	炊 ライン・ _・	- <del>@</del> -	
🖬 Excelワークブック		ダイアグラムウィザード		その他のダイアグラム・	7
フォルダ	コンテナー		ダイアグラム		
		の挿入	1		
	ドキュメントを ポートを作成	を使って複数ページのレ むします。			
			_		

ドキュメント内のダイアグラムを表示する

オブジェクトリストの中から適当なダイアグラム、この事例の場合は 2Dダイアグラムを選択します。 次に、このダイアグラムをマウスの左ボタンを押しながらドキュメントにドラッグして、配置したい位 置まで移動します。マウスのボタンを離すと、ダイアグラムがドキュメントに表示されます。

⊟ 5 • ৫ টি ፣			٢	キュメントツール		プロジェク	フトデータベース1	- FlexPro I	Developer Suite		Œ	i -		×
ファイル ホーム	挿入	データ 表示	開発	デザイン	0									0
ドキュメント要素の挿入	x +2/7		<ul> <li>呉新たに開始</li> <li>ドャンセル</li> <li>移動: 1 ÷</li> </ul>		<ul> <li>✓ ヘッダーとフッ・</li> <li>□ 先頭ページの</li> <li>奇数/偶数ペ</li> <li>□ 定</li> </ul>	9 )み別指定 ジ別指	<ul> <li>画像</li> <li>Ⅲ 描画オブジ</li> <li>▲ ラベ・</li> </ul>	7I	<ul> <li>⑦ 日付</li> <li>● 時刻</li> <li>■ ページ番号</li> </ul>	↓ 選択 Q	描画ツー ・	レ オブジェ	] : <b>/</b> ጉ	
ドキュメントレイアウト	カーソ	ルページ	セクション	ページ設定	ち ヘッダー	-	イラスト		フィールド	ツール				
× אכאב‡א 🛛							Ψ	データエ	Eクスプローラ				- <b>F</b>	φ×
								_ <b>3</b> ⊧ *	<u>9</u> , - O - O	- Ø 🎟 • I	<b>₽</b> ♥			
								» 📃	Weisang > Flex	Pro ▶ 2021 ♦	<ul> <li>Example</li> </ul>	s 🕨		_
								名前		*	サイズ	タイプ		<u>2</u>
								Data	а			ファイル フォノ	レダー	2
								FPA	Access			ファイル フォノ	19-	2
								Tuto	orials			ファイル フォル	V9-	2
									A alugic food		1 901 VP	ノアコル ノオル Eloy Dro. プロ	29- 21-	4
								& Con	atrol Panels and G	o	3 101 KB	FlexPro プロ	ST	2
								4 Dat	a Query and Serie	s 4	4.073 KB	FlexPro プロ	91	2
			2Dダイアク	54				Re Doc	ument Collection	a	2,217 KB	FlexPro プロ	ý1	2
								1						* *
								*7***	カト階層				- 1	n ~
								= 70	ショーローロー ロー・ショー ロー・ロー・ロー・ショー ロー・ショー ロー	*プロジェクトデー	AN-71		* 1	T ^
			111	<b>h</b> i i i i i i i i i					ドキュメント	7071717	20 20			
								> 🔼	2Dダイアグラム					
	1				!		·							
フォルダ・	- 4 ×	オブジェクトリスト		1 a and 1 a			▼ # ×							
Measurement +	e e i	名前	X	91) 3	2.史日時	コンテンツ		FJD	パティ 皆オブジ	ェクト階層 🔸	データのフ	ใ/ไว–		
📒 プロジェクトデータベーフ	い プロジェ	Measurement	1	フォルタ	2023/07/10 15:33:05	3オフジェク	7ト(s); 値なし	オルジュ	-				- 1	
Measurement 1		Ultrasoun	disignal	テーダセット コ	2023/07/10 15:33:05	4,578 64 2	「ツト)学動小蚁点催							Ý ^
		Current		デークセット	2023/07/10 15:33:05	4,578.64 0	ッド子動小数点値 しい当新小数点線							
		2Dダイアグラム		20ダイアグラム 2	2023/07/10 13:06:49	Voltage C	urrent							
		☑ F+1X2F		F#1X21 2	2023/07/11 10:12:38	vonage, e	anen		fi	可も選択されて	いません。			
		- · · · · ·												
4	Þ	4					. F	<b></b> ■プレ	ビュー 🔞 ダイナミ	ミックヘルプ 🥫	座標			
准備完了							81 X: 5.5	cm Y: 14.5	5 cm 1/3	60%			+ 4	<b>b</b>

注意:この事例の場合、ドキュメントにはオブジェクトリストにあるダイアグラムへのリンクが挿入されます。このことは、マウスポインターに表示されるリンクアイコンで確認できます。ドキュメントにダイアグラム自体のコピーを挿入するには、CTRLキーとマウスボタンを同時に押す必要があります。

## ドキュメントにテキスト行を挿入する

デザイン [イラスト] > ラベル をクリックして、ラベルを配置したい場所にマウスポインターを移動 します。マウスをクリックすると、テキストの編集ダイアログボックスが表示されます。

⊟ 5 • ৫ টি ፣				ドキュメントツール	プロジェク	小データベース1 -	FlexPro Developer Suite
ファイル ホーム	挿入	データ 表示	、 開発	デザイン	0		
ドキュメント要素の挿入	オンパオフ		L、新たに開始 L、キャンセル 移動: 1 ↓	「 ページ余白 <sup>「」、</sup> か、	<ul> <li>✓ ヘッダーとフッター</li> <li>□ 先頭ページのみ別指定</li> <li></li></ul>	<ul> <li>□] 画像</li> <li>□□ 描画オブジ</li> <li>▲ ラベ▼</li> </ul>	i □ 日付 • 時刻 · ページ番号
ドキュメントレイアウト	カーソル	ページ	セクション	ページ設定 ち	ヘッダー	7521	フィールド
× אלאנ‡א						A= 5/3/0	挿入
						ラベルは林 ストです。	卒線のないシンプルなテキ
			+	-			名前
			' A				Data FPAccess
			An	A			Tutorials

ここに適当なテキストを入力したら、フォントサイズを **20** に、**見出しレベル1** に設定して、OK ボタンをクリックします。入力したテキストがドキュメントに表示されます。

テキストの編集		?	×
テキスト(X)	B I x <sup>2</sup> x <sub>2</sub> (), IV - A - ⊕ 7 ⊙ F (a) 123 ↔	フィール	۲.
Two Sine	Waves		^
			~
<		3	>
フォント(F):	■ MS UI Gothic(20)	0*	-
🗌 タブ(T):	0 cm 🜲		
アンカー設定(H):	左上 ~		
アウトライン			
レベル(E):	見出しレベル1 ~		
フォーマット(0):	1		
□次の番号から番号	を振りなおす(U): 1		
	ОК	キャンセル	

E 5· ♂ B =	ドキュメントツール	描画ツール	プロジェクトデー	タベース	1 - FlexPro Developer Suite			×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 開発	デザイン	77-791	2					0
ドキュメント要素の挿入 ドキュメント要素の挿入 おパカフ に キャント要素の挿入		<ul> <li>✓ ヘッダーとフッち</li> <li>□ 先頭ページの</li> <li>奇数/偶数ペ・</li> <li>□ 定</li> </ul>	7- □ 画像 み別指定 -ジ別指   描画オブ ▲ ラベ…・	ÿ1	<ul> <li>□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□</li></ul>	ジャンクロン 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	↓ オブジェクト	
ドキュメントレイアウト カーソル ページ セクシ	ヨン ページ設定	ッ ヘッダー	152	۲	フィールド ツール			
x 1 <x=1< th=""><th></th><th></th><th>*</th><th>デー</th><th>タェクスプローラ</th><th></th><th></th><th>ч ×</th></x=1<>			*	デー	タェクスプローラ			ч ×
				-	• 💁 • 🗢 • 😂 🖽	- 🖩 🕸		
					« Weisang + FlexPro + 202	1 • Examples	•	
T Two Cine Ways				名前	i 🔺	サイズタ	げ	12 A
			Ţ		Data FPAccess Linoials VBA Analysis.fpd Control Panels and Co Data Query and Series Document Collection a マロンエクトーダベース・プロジェクト マロンエクトーダベース・プロジェクト マロンエクトーダベース・プロジェクト マロンエクトーダベース・プロジェクト マロンエクトーダイーズ・プロジェクト マロンエクトーダイーズ・プロジェクト レビン 20ダイアグラム	フ フ 1,801 KB FI 3,101 KB FI 4,073 KB FI 2,217 KB FI 2,217 KB FI 	アイルフォルダ- アイルフォルダ- アイルフォルダ- アイルフォルダ- マイルフォルダ- exProプロジェ exProプロジェ	
フォルダ ▼ ¤ × オブジェクトリスト			* † >	¢				
Measurement - ビ 塗 ( 名前     フロジェクトラータベース: プロジェ     Measurement 1     Measurement 1     Measurement 1     Voltage     Current     Z 20ダイアグラム     ドキュメント	コメ タイプ 3 フォルダ 2 データセット 2 データセット 2 アータセット 2 2Dダイアグラム 2 ドキュメント 2	を更日時 1023/07/10 15:33:05 1023/07/10 15:33:05 1023/07/10 15:33:05 1023/07/10 15:33:05 1023/07/10 17:06:49 1023/07/11 9:56:35	コンテンツ 3 オブジェクト(s): 値なし 4,578 64 ビット浮動小数点 4,578 64 ビット浮動小数点 4,578 64 ビット浮動小数点 Voltage, Current	レー アレ 催 催	プロパティ 123オブジェクト階層 ビュー 何も選択され		<u>tia-</u>	, <del>4</del> Х
▲ 準備完了			1 X: 2	i cm Y: 2	プレビュー <b>ジ</b> ダイナミックへルプ 2 cm 1/2 60%			<b>4</b>

挿入したテキストは、マウスを使って移動することができます。

ここでドキュメントを閉じてください。

注意:**ドキュメントツール**の [カーソル] > **オン/オフ** アイコンを使用してカーソルを有効して、ド キュメント内のダイアグラムをクリックすると、カーソルの全てのオプションをドキュメント内で利 用できるようになります。また、複数ページにまたがるドキュメントを作成することもできます。

🗄 ጛ ତ 🗟 ፣		ドキュメントツール	カーソルツール	プロジェクトデータ
ファイル ホーム 挿入	データ 表示 開発	デザイン	カーソル	0
ドキュメント要素の挿入 オンパ	<ul> <li>▲</li> <li>●</li> <li>●<td>開始 2ル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td><ul> <li>マ ヘッダーとフッター</li> <li>一 先頭ページのみ</li> <li>奇数/偶数ペー:</li> <li>□ 定</li> </ul></td><td>- 日本 画像 別指定 団 描画オブジ ジ別指 All ラベ・</td></li></ul>	開始 2ル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul> <li>マ ヘッダーとフッター</li> <li>一 先頭ページのみ</li> <li>奇数/偶数ペー:</li> <li>□ 定</li> </ul>	- 日本 画像 別指定 団 描画オブジ ジ別指 All ラベ・
ドキュメントレイアウト カーン	ハルトページ セクショ	ン ページ設定	「」 ヘッダー	イラスト
× אכאב+א א	△ カーソルの切り替え	1		<b>*</b>
V	アクティブなウィンドウのすべて イアグラムのカーソルをアクティ 化または非アクティブ化します	0.4 •		
	1 Two Sine Waves			Ţ



8. FlexPro で計算を行う

# 8. FlexPro で計算を行う

まず、**オブジェクトリスト**で Ultrasound Signal という名称のデータセットを選択します。プレビ ユーを見ると、この信号の形状を確認できます。

⊟ 5 - ♂ ট =	プロジェクトデータペース1 - FlexPic Developer Suite	⊡ - a ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示	開発 🖉 資付したい作識を入力してく	0
フォルガ teatワークフック ドキュメント ワークシート		ノベルタ カーフフィッティング Risth カウントプロシージャ 音響
フォルダ コンテナー	ダイアグラム テーブル その他 データ 山山の	クロススペクトルロー
		900001962- サガストラムロー、 サガストラムロー、 サガストラムロー、 サガストラムロー、 サガストラムロー、 サガストラムロー、 サガストラムロー、 第2012/0514/051000- 第2012/0514/051000- 第2012/0514/051000- 第2012/0514/051000- 第2012/0514/051000- 第2012/0514/051000- 第2012/0514/051000- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/05100- 第2012/0514/0514/0514/0514/0514/0514/0514/0514
7254 • 3 × 10 Manurent 1 - 1 = 2 = 2 = 2 7022797+96-32 (20229)9-96-32 Manurent 1 Manurent 1		◆ プルパット (20オブシング) 新聞 (4) データのアンビュー 入ビュー・・・・ ×
港備完了		ti #

次に、**挿入** [解析] > **スペクトル解析**から**フーリエスペクトル**を選択します。これにより、フーリエス ペクトルを計算するための解析オブジェクトが作成されます。

プロパティダイアログボックスが開きます。設定内容には一切変更を加えず、OK をクリックしてこの 画面を終了します。デフォルトの設定内容を使用したスペクトル解析がサンプルデータに対して実行さ れます。

フーリエスペクトル解析 'Ultrasound	Signalスペクトル' プロパティ			?	×
全般	スペクトルプロシージャ(S)				
パラメータ 計算 フォーマット	<ul> <li>● 等間隔データのフーリエスペクトル</li> <li>○ ビリオドグラム</li> </ul>		<ul> <li>○ マルチテーパスペクトル</li> <li>○ ビークホールドスペクトル</li> </ul>		
データ	スペクトルタイプ(T)				
<u>オブション</u> 結果	○ 振幅 ○ 振幅 ○ 振唱 ○ 母、基字: 1 ④ 正現化 dB ○ PSD ○ TISA - Time Integral Ampl.2 ○ MSA - Mean Amplitude2 ○ SSA - Sum Amplitude2	<ul> <li>         ○ 分散         ○ マグニチュード2         ○ マグニチュード         ○ 位相         ○ 位相接続         ○ 位相接続         ○ 虚数部         ○ 虚数部         ○ 1/3 オクターブ (平均)         </li> </ul>	<ul> <li>1/3 オクターブ (合計)</li> <li>1/3 オクターブ (RMS)</li> <li>1/3 オクターブ (平方和)</li> <li>オクターブ (平方和)</li> <li>オクターブ (平均)</li> <li>オクターブ (平方和)</li> <li>オクターブ (平方和)</li> </ul>		
	ウィンドウ タイプ(Y): Cos2 パニング - 調整()):	31dB W=2	正規化(R): 振幅		~
	パラメータ				
	FFT長(L): デーク長	× v			
[	]		OK キャンセル	適用	用(A)

オブジェクトリストを見ると、Ultrasound Signalスペクトル という名称の解析オブジェクトが追加 されたのを確認できます。これは、Ultrasound Signal データのスペクトル解析結果であることをあら わし、他のデータセットと同様に使用することができます。計算で得られたこのスペクトルをダイアグ ラムに表示するには、挿入 [ダイアグラム] > 線 > ラインを選択します。



新規ウィンドウにスペクトル解析を行った新規ダイアグラムが表示されます。ここで、ダイアグラム を閉じてください。

注意:FlexProの公式として独自の計算をセットアップすることも可能です。解析ウィザードを利用 すれば、一連の処理をダイアログを通じて実行できます。

# 9. データのプレゼンテーションと計算をボタンひとつ で自動処理する

まず、挿入 [コンテナー] > ドキュメント をクリックして新規ドキュメントを用意します。

⊟ 5 • ৫ টি ፣		プロジ	ェクトデータペース1・F	lexPro Developer Suite				□ ×
ファイル ホーム 挿入	データ 表示 開発 ♀ 実	行したい作業を入力してく						0
フォルダ Excelワークブック	×7-7-7-7-7-1-	X ライン・ M・ III・ マ・ I 縦棒・ 全・ Ø・ ♥・ ・                 ●・ ● ・ その他 ダイアグラム	Dのダイアグラム • <sup>ラ</sup>		7 ト・ 1ールパネル D他	元 か 立式 データウェリ か データ     ボーン 解析ウィ     ボーン	ザード シグナル解析	• [] • • [] • • [] •
	トキュメントの挿入	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			*	データエクスプローラ		* † ×
6	ドキュメントを使って複数ページの					💁 • 🗅 • 💿 • 🗗 💷	• 🖩 💠	
	レポートを作成します。					🔜 « 2021 🕨 Examples 🕨 Data	First Steps	
						名前	サイズ タイプ	変更
						Ever data Tent data Messurement 1.DDF Messurement 2.DDF イ プロ/ディ シーンテント 名前 ガデリ」 服火	774(1) 74 777(1) 73 189 KB DOF 774(1) 189 KB DOF 774(1) 189 KB DOF 774(1) 189 KB DOF 774(1)	<ul> <li>𝑘 − 2022</li> <li>𝑘 − 2023</li> <li>𝑘 − 2023</li> <li>2021</li> <li>2021</li> <li>2021</li> <li>𝑘 𝑘</li> <li>𝑘</li> <li></li></ul>
						書込保護	False 2022/07/11 14:20:10	
7418 - 1 -	オゴミックトリフト		_			ハイパーリング	2023/07/1114:20:10	*
Maxurament - 23 53 1	名前 コメ	917 :	交更日時	コンテンツ	* 4 ×	▶ ノロハティ TBオフジェクト階層	≪ 〒-907レビュー	
essurement 1 ■ 105205F99K-2x:7052 Measurement 1	Measurement 1 Measurement 1 Ultrasound Signal Ultrasound Signal Current Signal X/9/b/ M2 20547755 M3 432/b	フォルダ データセット データセット データセット フーリエスペクトル解析 20ダイアグラム ドキュメント	2023/07/11 13:39:40 2023/07/11 13:39:40 2023/07/11 13:39:40 2023/07/11 13:39:40 2023/07/11 13:39:40 2023/07/11 13:45:47 2023/07/11 14:00:40 2023/07/11 14:20:10	4.578 32 ビット浮動小数点値 ボイン 4.578 32 ビット浮動小数点値 ボイン 4.578 32 ビット浮動小数点値 ボイン 2.290 64 ビット浮動小数点値 ボイン 'Ultrasound Signalスペクトル'	トのシグナル [V, トのシグナル [V, トのシグナル [m トのシグナル [dE	7/21-		▼ # X
4	4				Þ	●プレビュー ❷ダイナミックヘルプ	回座標	
準備完了					1	X: 42 cm Y: 2.5 cm 369		+ 🌲 👌

オブジェクトリストから Ultrasound Signal という名称のデータセットを選択します。このデータ をマウスの左ボタンを押しながらドキュメント内の配置したい場所へドラッグします。マウスボタンを 離すと、データセットの内容がドキュメントに表示されます。

🖬 🕤 🕫 ଜ ፣ 👘 🗇	ジェクトデータペース1 - FlexPro Developer Suite		- 🗆 ×
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 開発 ♀ 実行したい作業を入力して			0
	・ ・ か 他のダイアグラム・ 「 一 、 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	元 ポータクエリ ポート     経術ウィザード     シグナル     シグナル	▲ • 回 • 」 解析 <mark>國 • </mark> ■ •
フォルダ コンテナー ダイアグラム	テーブル その他	データ 解析	
	Ψ	データエクスプローラ	* ÷ ×
		<mark>, ≩</mark> • (≥ • (≥ • (2) ⊞ • 🖩 🌣	
		≪ 2021 ► Examples ► Data ► First Steps	•
		名前 ▲ サイズタ	イブ 変更
		Excel data 7	ファイル フォルダー 2023
		lext data 7	/アイルフォルター 2023 XDF ファイル 2024
		Measurement 1.00F 189 KB D	DF 771 / 2021
		4	
		プロパティ	- a ×
			0
		名前 Ultrasound Si	ional
		カテゴリ	5
		開く False	
		書込保護 False	
		1F/0X/E 2021/08/23 16	5:44:16
フォルダ マ エ × オブジェクトリスト	▼ 7 ×	プロバティ 日オブジェクト階層 ペデータのプレ	12-
Measurement - 52 201 名前 コメ タイプ	変更日時 コンテンツ	ブルビュー	
🧧 プロジェクトデータベース: プロジェ 🎽 Measurement 1 クオルダ	2023/07/11 13:39:40 3 オブジェクト(s); 値なし		
Measurement 1 「データセット	2023/07/11 13:39:40 4,578 32 ビット浮動小数点値ボイントのシグナル [V	0.240784	
Voltage 7-929N	2023/07/11 13:39:40 4,578 32 ビット注動小数点値 小1 ントのシグナル [V 2023/07/11 13:39:40 4,578 32 ビット注動し数上線 ポイントのシグナル [V		
Content J=yeyr Content J=yeyr Content J=yeyr フーリエスパクトル解析	2023/07/11 13:35:40 4,576 32 ビッド注動小数点値 ポインドのシジナル [1 2023/07/11 13:45:47 2 290 64 ビット注動小数占値 ポイントのシグナル [4	V CONTRACTOR AND	
22 20ダイアグラム 20ダイアグラム   22 ドキュメント ドキュメント	2023/07/11 14:00:40	-0.219727 0 • 4.151	139
4 ) ) 4	Þ	■ブレビュー @ダイナミックヘルブ 国座標	
マウスをクリックアンドドラッグして描画オブジェクトを選択します。		🛅 X: -5.5 cm Y: 28 cm 36% — —	+ 🐥 .a



次に、スペクトル解析を行った 2Dダイアグラムをドキュメントに配置します。オブジェクトリストで 2Dダイアグラムを選択したら、マウスの左ボタンを押しながらドキュメントの空いた場所にドラッグし てください。

E 5 · ♂ B =	プロジェクトデータベース1 -	FlexPro Developer Suite		
ファイル ホーム 挿入 データ 表示 開発 ♀ 実行	うしたい作業を入力してく			0
	ライン・▲・ 誰・ デ・ 縦棒・ ●・ ●・ ●・ い・ ・ ●・ ●・ その他のダイアグラム・			/ボード シグナル解析 <mark>■・</mark> ■・
フォルダ コンテナー	ダイアグラム	テーブル その他	データ	解析
₩20ダイアグラム R+1メント ×		*	データエクスプローラ	▼ # ×
			38 * Q. * O * O * Ø B	E * 🖩 😳
			名前 名前	a First Steps ト サイブ タイゴ 一 亦正
-			Excel data Text data Measurement 1.DDF	ファイル フォルダー 2023 ファイル フォルダー 2023 ファイル フォルダー 2023 189 KB DDF ファイル 2021
			Measurement 2.DDF	189 KB DDF ファイル 202
			4	Þ
			プロパティ	<b>▼</b> ₽ ×
			1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Q
			- 2D ダイアグラム	A and could be
			名前	2091/974
	2		開<	True
	с <sub>т</sub>		書込保護	False
			作成日	2023/07/11 14:00:40
フォルダ マ ユ × オブジェクトリスト		+ ∓ ×	▶ プロパティ 皆オブジェクト階層	≪ データのプレビュー
Measurement ▼ 🔂 😂   名前 🛛 □乂	タイプ 変更日時	コンテンツ	ブレビュー	<del>▼</del> # ×
■ プロジェクトデータベース: 'プロジェ Measurement 1 Measurement 1	ノオルク 2023/07/11 13:39:40 データセット 2023/07/11 13:39:40	3 オノジェクト(s); 値なし 4 578 32 ビット派動小数 占体 ポイントのシグナル IV	110	
Voltage	データセット 2023/07/11 13:39:40	4,578 32 ビット浮動小数点値 ポイントのシグナル (V,		
Current	データセット 2023/07/11 13:39:40	4,578 32 ビット浮動小数点値 ポイントのシグナル [m	- h.	Takes and
12: Utrasound Sig/alスペクトル は2 2Dダイアグラム	フーリエスペクトル解析 2023/07/11 13:45:47 2Dダイアグラム 2023/07/11 14:32:07	2,290 64 ビット浮動小数点値 ボイントのシグナル [dl 'Ultrasound Signalスペクトル'	4- m	Aller Distance and
-7.X1F1 [2]	トキュネント 2023/07/11 14:32:29			
			■プレビュー @ダイナミックヘル	プロ座標
準備完了			🛅 X: -9 cm Y: 29.5 cm 36	× + + + # .:

以上で、Measurement 1 にある Ultrasound Signal とこの信号のスペクトル解析をあらわすドキュ メントの作成が完了しました。

ם לי לי B	プロジェクト	トデータペース1 - FlexPro Developer Suite	
ファイル ホーム 挿入	データ 表示 開発 ♀ 実行したい作業を入力して	ζ	0
■ フォルダ ビドキュ: ■ フォルダ □ ワーク ■ Excelワークブック	レト・ メハアガラムウィザード → ジ・デ・デ・マ・ オハアガラムウィザード → ジ・デ・デ・マ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	рујъд ли) и и - к и и и и	<b>隆</b> 译析
フォルタ コンテ:	- 91795L	テーフル その他 テータ	
	×	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	₩ # X
			ta k Eirst Steer k
		Zán	ta Frist steps F
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Fixed data	7*/1.7*1.4 2023
	i ilia	Text data	ファイル フォルダー 2023
		Measurement 1.DDF	189 KB DDF ファイル 2021
		Messurement 2.DDF	189 KB DDF 7r1/l/ 2021
		אליביגאינע שור אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער ער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער ער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער ער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער אינגער ער אינגער	クトデータベース1 ントル
7πルダ <b>▼</b> ∓ ×	オブジェクトリスト	▼ # ×	■ 🔩 データのブレビュー
📑 Measurement 🕞 🖼 🖬	名前 コメ タイプ	変更日時 コンテンツ ブレビュー	- I X
🧾 ブロジェクトデータベース: プロジェク 📕 Messurement 1	Measurement 1         2ħ/07           Ultrasound Signal         データセット           Voltage         データセット           Current         ゲークセット           Ultrasound Signal2/X02/bl         アーリエスパクトル毎折           ドキュメント         ドキュメント           ドキュメント         ドキュメント           ドキュメント         ドキュメント           イ         イ	2023/07/11152/14 3.オブジン5/14: 値し 2023/07/11522/14 4.5783 22/5月第数小表色電ボイ 2023/07/11522/14 4.5783 22/5月第数小表色電ボイ 2023/07/11522/24 4.5783 22/5月第4小表色電ボイ 2023/07/1154525 2.289 64/57片第4小表色電ボイ 2023/07/1154532 2.289 64/57片第4小表色電ボイ 2023/07/11154534	されていません。
4	☆オブジェクトリスト 0 イベントログ	マブレビュー @ ダイナミックへい	プロ座標
準備完了		🔠 X: -3 cm Y: 30 cm 3	6% — — + 🐥:

9. データのプレゼンテーションと計算をボタンひとつで自動処理する

この評価ドキュメントの作成に使用した全てのオブジェクトは、動的ネットワークを形成します。ネットワークの内容はオブジェクト階層ウィンドウに表示されます。つまり、この評価ドキュメントは、別の計測データの評価ドキュメントを作成する際のテンプレートとしてそのまま利用することができるわけです。データフォルダから Measurement 2 ファイルをインポートします。

インポートに関するオプションについての情報は下記をご覧ください:

- Excel データをインポートする
- 計測機器から取得したデータをインポートする
- テキストデータ (ASCII ファイル) をインポートする

Measurement 2 ファイルをインポートすると、FlexPro に、Measurement 2 という名称の2番目 のフォルダが作成され、このフォルダがアクティブになります (フォルダアイコンが赤になっていればア クティブになったことになります)。オブジェクトリストにアクティブなフォルダの内容が表示されると ともに、ホーム [更新] > 自動にチェックが入っているので、現在開いているウィンドウの内容がすべて 更新されます。



注意:各計測データの切り替えは、フォルダウィンドウの一番上にあるサブフォルダのリストボック スから該当するサブフォルダを選択することでいつでも行うことができます。FlexProのホーム[更 新] > 自動にチェックが入っていれば、全てのウィンドウが自動的に更新されます。もし、自動更新 のチェックが無ければ、「すべて更新」コマンドを使ってその都度手動で更新を行うことも可能です。





以上で、チュートリアルは終わりです。

オンラインヘルプにはこのほかに、以下のようなトピックが用意されています:

- 「Ultrasound Signal スペクトル」オブジェクトをダブルクリックして、スペクトルのフォーマットを dB から「振幅」に変換する。
- 測定データの統計量を作成し、ドキュメント内にテーブルとして表示する。
- 解析結果を HTML ウェブページとしてエクスポートする。
- 幾つかのステップにわたるコマンドをマクロとして記録する。
- データセットを計算する公式を作成する。

FlexPro には、幅広い分野をカバーするその他のプロジェクトデータベースがサンプルとして用意されています。

サンプルデータは、次のパスを指定するか、日本語のフォルダ名で C: > ユーザー > パブリック > パ ブリックのドキュメント > Weisang > FlexPro > <バージョン> > Examples に移動してください。

C:UsersPublicDocumentsWeisangFlexProVi >VExamples